

社会貢献の遺志を引き継いで、行動に

崔 子鵬 (サイ シホウ)

(元) トヨタ自動車(株)東山寮

(元) 名古屋大学

時の流れが早いと申しますが、2020年2月7日に太田篤様のご逝去からもう半年経過しました。

太田様は生前、社員寮へ外国人留学生を受け入れる契機となった提言「21世紀日本プログラム」を担当され、2004年度から「留学生支援企業協力推進協会」の専務理事・事務局長に就任されておりました。長い間、私達日本に留学しに来た留学生たちを無償に支援していただき、生活面や仕事面でもアドバイスをしていただいた、とても立派な方として世に模範を示されておりました。

私は太田様の訃報を伺い、驚いておりました。最後に太田様にお会いしたのは2019年11月16日でした。当時鈍感な私は太田様の言動から健康的な支障を感じておりませんでした。太田様の亡き後、私は生きる意味を改めて考えてみました。

この世に生まれてきた皆様はいつか死が訪れてきます。星空を見上げる科学者でも、人間社会を観察する哲学者でも、己の精神を極めて表現する芸術家でも、お偉方でも一般人でも、死を避ける方法はわからないし、避けることもできません。それなのに、人間はなんのために生きていくのでしょうか。大自然のルールを見つけるためとか、この世の流れを知るためとか、一番美しいものを作るためとか、人の尊敬を得るためとか、普通に家族と幸せに過ごすためとか、千人に聞いたら千種類の答えがあります。むしろ世界で一番簡単な質問ではないでしょうか。ただし、一番簡単な質問でありながら一番難しい質問にもなります。その理由は、人間はなぜ生きていくのかという質問には正解がないかもしれません。

人生は苦しいものです。これだけはどなた様に聞いても、答えは同じでしょう。知りたいことが多すぎて、全て解明することができません。欲しい物も多すぎて、全て手に入れることができません。嫌いな人はいつも身の回りにいます。好きな人といつか必ずお別れになります。それなのに私達人類は大昔から頑張って生きてきました。今より遥かに厳しい環境と戦いながら生きてきました。無意識でも意識的でもみんなあることをやってきました。それはより良い環境を作ることです。代々の先祖達は力を尽くして、目に見える財宝と目に見えない知識や文化などを残してくれました。人生意味の正解はわからないかもしれないけれど、このことは正解に導くヒントになります。それは、私達はみんな次世代の人のために生きていき、頑張っています。

ニュートンの偉業でアインシュタインを育ちました。孔子の思想を孟子は引き継ぎました。ダ・ヴィンチの『モナ・リザ』は美術家だけではなく、全人類に影響していると言っ

でも過言ではありません。数え切れないご先祖様のおかげで、私達は豊かで安全な日々を暮らしています。太田様もそのご先祖様の一人で、私達留学生の貧しい学生時代を援助するために力尽くしていました。その恩情一生忘れることはありません。いつか恩返しで、太田様が大切にしていた「留学生支援企業協力推進協会」のお力になりたく思います。また、いつか太田様が示していただいた社会貢献の道に歩み、太田様の遺志を引き継いで、行動にしようと思います。人の体は消えても、人の志は消えません。例え数十年後、数百年後に太田様のお名前が忘れられたとしても、その志は代々の人に引き継がれて、人類の発展とともに永遠に流れていきます。

今の私は微力ながら社会貢献のための力になりたいと思います。

大変無遠慮なことを申し上げましたが、これで追悼の言葉に代えさせていただきます。